

令和2年度
(2020年度)

上下水道事業部の取り組み

<部長の方針・考え方>

上下水道事業部の事業方針は、上下水道ビジョンに掲げる以下の2点としています。

- ①「市民の暮らしや企業活動を支えるために、お客さまに信頼され、満足いただける、持続可能な水道」をめざした事業の推進。
- ②「水環境を保全し、快適な生活環境を創造するとともに、大雨による浸水被害から市民生活を守る下水道」をめざした事業の推進。

今年度は、新しい生活様式の実践による事業活動や市民活動の変化により、当部が行う事業も優先順位を考
えながら進める必要があります。

これからも蛇口から水が流れ、排水口へ水が流れる日常を持続できるよう取り組んでまいります。

<部の構成>

上下水道計画課
浄水課
上水道工務課
上水道保全課
汚水整備課
雨水整備課
下水道施設維持課

<主な担当事務>

- (1) 局の総合計画及びその調整に関すること。
- (2) 水道及び下水道の整備に関すること。
- (3) 局の工事の検査及び審査に関すること。
- (4) 局の危機管理に関すること。

具体的な取り組み：中宮浄水場更新事業

より安全で安心できる持続可能な水道を実現するための重点施策として、中宮浄水場の更新事業を進めます。新たに建設する浄水場は、淀川水系で初めてとなる膜処理方式を採用し、令和2年度は、総合評価一般競争入札によりDBO事業者の選定事務に取り組みます。

具体的な取り組み：水道施設等の更新・耐震化事業

水道水を安定的に供給するため、水道施設・管路の更新及び耐震化を効率的・効果的に取り組みます。水道施設整備基本計画に基づき、水道施設については、鷹塚山配水場更新工事（令和2年度中完成）、津田低区配水場3号池整備工事に引き続き取り組みます。

水道管路については、送水管、配水本管、配水支管の更新及び耐震化事業を進めます。

<鷹塚山配水場>



<津田低区配水場3号池>



具体的な取り組み：下水道施設の老朽化対策・地震対策

市民生活の安全確保を図り、老朽化対策などに取り組むため、今年度、下水道整備基本計画を策定するとともに、予防保全型を重視した計画的な下水道施設の改築及び耐震化を定めた下水道ストックマネジメント計画を推進し、維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図ります。

令和2年度は、管路施設について改築工事や実施設計を実施し、ポンプ施設について、安居川ポンプ場機械設備の改築、北部・溝谷川・安居川の3ポンプ場の耐震診断を実施します。

管渠等の老朽化や誤接続により汚水管渠に雨水等が浸入する雨天時浸入水の対策については、楠葉処理分区において流量計を設置し、雨天時浸入水の浸入区域の調査を行います。また、既設管渠の管内貯留について検討を行います。

具体的な取り組み：汚水整備事業

汚水整備事業は、河川や水路、ため池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちをめざし、今後は整備済み区域内に点在する未承諾地区や整備困難地区など、未整備地区の解消に取り組めます。

具体的な取り組み：雨水整備事業・浸水対策

近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、楠葉排水区において引き続き雨水貯留施設等の整備を進めます。また、幹線管渠の整備や浸水頻度の高い地域の被害軽減に向けた設計業務に取り組めます。

<シールドマシン（楠葉雨水貯留管）>



<築造中の楠葉雨水貯留管>



具体的な取り組み：危機事象への対策

生活に不可欠な水道水の供給と下水道による快適な生活環境の確保を持続するため、上下水道事業部では、発生が予想されている大地震や風水害等の危機事象への備えとして緊急出動班の体制整備やマニュアルの作成、給水訓練等に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症においては「3密の回避」とともに「手洗い」が感染対策に挙げられ、また「新しい生活様式」のひとつとして位置付けられました。このことから水道と下水道というライフラインが担う役割は感染症発生前にも増して重要なものとなっています。

水道事業・下水道事業においては職員一人ひとりが事業の重要性とその責任を自覚したうえで、危機事象に対応し、職員一丸となって業務継続できるよう令和2年度は既存のマニュアルの再点検を実施し、適宜改訂に取り組めます。